

大伴坂上郎女の
「怨恨歌」について

(二) 閨怨詩との関係

中国文学における

「閨怨」

孤独と怨情

戦争や苦役による夫婦の
離別

夫の変心による夫婦の
離別

結婚適齢の男女が結婚
できないうこと

二つの「怨み」

思婦の「怨み」

棄婦の「怨み」

春と結婚

桃之夭夭

灼灼其華

之子於歸

宜其室家

(詩經 周南·桃夭)

春と結婚

嫁娶必以春者。春
天地交通。万物始
生。陰陽交接之時
也。

（『白虎通德論』）

春と結婚

周礼、仲春令会
男女。然則桃之
有華、正婚姻之
時也。

朱熹『詩集伝序』

征夫と思婦

……

有杖之杜

其彙萋萋

五事靡盬

我心傷悲

卉木萋止

女心悲止

征夫歸止

『詩經 小雅杖杜』

怨女曠夫

內無怨女外無曠夫

『孟子』

春女

春女思秋士悲

春女感陽則思、秋士見陰而悲、
而知物化矣

『淮南子』

春怨

佳人能畫眉
粧罷出簾帷
照水空自愛
折花將遺誰
春情多豔逸
春意倍相思
愁心極楊柳
一種亂如絲

孟浩然·春怨

燕歌行（魏文帝）

秋風蕭瑟天氣涼
草木搖落露爲霜
群燕亂歸鴈南翔
念君客遊思斷腸
慊慊思歸戀故鄉
何爲淹留寄他方
賤妾煢煢守空房
憂來思君不敢忘
不覺淚下沾衣裳
授琴鳴絃發清商
短歌微吟不能長
明月皎皎照我牀
星漢西流夜未央
牽牛織女遙相忘
爾獨何辜限河梁

（『文選』）

棄婦の「怨み」

三歳爲婦

靡室勞矣

夙興夜寐

靡有朝矣

言既遂矣

至于暴矣

靜言思之

躬自悼矣

及爾偕老

老使我怨

（『詩經』「氓」）

棄妃廢後の典型

長門——陳皇后

長信——班婕妤

司馬相如「長門賦」序

孝武皇帝陳皇后、
時得幸頗妬、別在
長門宮。愁悶悲思

（『文選』）

司馬相如「長門賦」

日黃昏而望絕兮，悵獨
託於空堂。援雅琴以變
調兮，奏愁思之不可長。
：：左右悲而垂淚兮，
涕流離而從橫。舒息
悒而增歎兮，蹠履起
而彷徨：：

（『文選』）

班婕妤

怨歌行

新裂齊紈素 鮮絜如霜雪
裁成合歡扇 團團似明月
出入君懷袖 動搖微風發
常恐秋節至 涼飈奪炎熱
棄捐篋笥中 恩情中道絕

（『文選』）

孔翁歸和湘東王班姬一首

長門與長信
日暮九重空
雷聲聽隱隱
車響絕籠籠
恩光隨妙舞
團扇逐秋風
鉛華誰不慕
人意自艱終

（『玉台新詠』）

参考論文

① 小野寺静子「怨恨の歌——大伴坂上郎女の志向する世界——」（『万葉』七九号 一九七二年五月）

② 浅野則子「怨恨歌試論」（『国文目白』二三号 一九八四年二月）

③ 孫久富「『詩経』の「棄婦怨」と『万葉集』の「怨恨歌」（『日本上代の恋愛と中国古典』新典社一九九六年）

④ 東茂美「怨恨歌」論（『大伴坂上郎女』笠間書院一九九四年）

課題

◎ (一) 怨恨歌に関する四つの論文を読んで要約し批評をつけること

◎ (二) 怨恨歌成立について考えること

◎ 訪婚という慣行との関係

◎ 女歌の伝統との関係

◎ 挽歌との関係

◎ 中国閨怨詩との関係